

今日のトピック 利下げが続くブラジルの金融政策（2018年3月）

## インフレの低下から0.25%利下げ

### ポイント1 0.25%の利下げ 政策金利は過去最低を更新

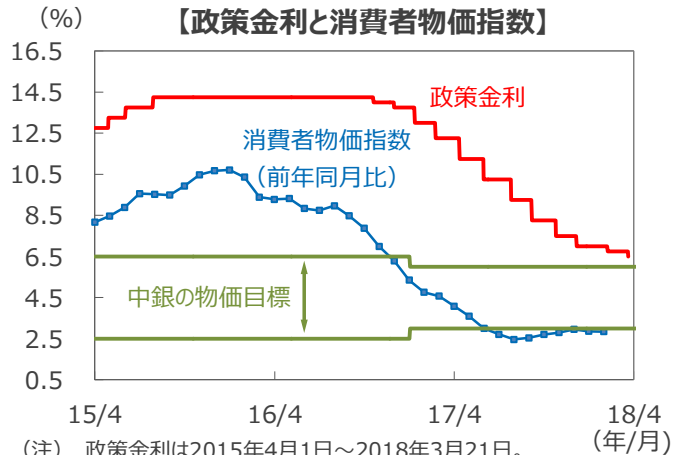
- ブラジル中央銀行（以下、中銀）は、3月21日の金融政策委員会で、政策金利を0.25%引き下げて、6.50%とすることを全会一致で決定しました。利下げは12会合連続で、政策金利は過去最低を更新しました。

### ポイント2 インフレは低水準が続く 今後は中銀目標に収まる見通し

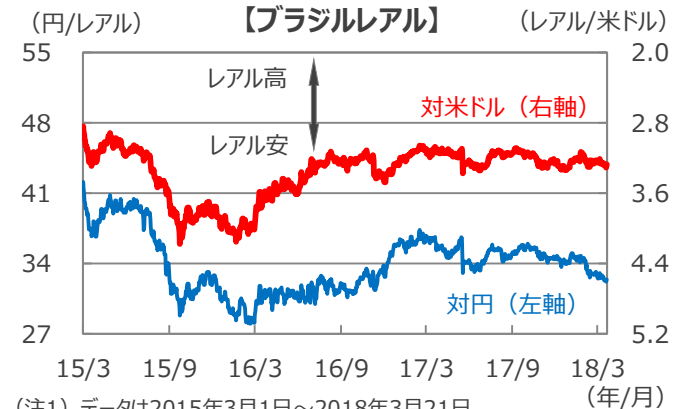
- 中銀は声明文で、足もとの経済指標からみてブラジル経済は回復しているとの認識を示しました。
- 2月の消費者物価は前年同月比+2.84%と、小幅ながら1月よりも上昇幅が縮小し、中銀の目標レンジ（4.5%±1.5%）の下限を下回り続けています。中銀は、年明け以降のインフレが低水準で落ち着いていることを、利下げの理由としています。
- 一方、今後のインフレについては、2018年は前年比+3.8%、2019年は同+4.1%と徐々に上昇し、中銀目標レンジに収まると見えています。

### 今後の展開 次回も利下げが見込まれる

- 中銀の声明文によると、次回5月の金融政策委員会でも、0.25%の利下げが行われる見通しです。通貨レアルはこの先、神経質な展開となりそうです。これまでの金融緩和の効果などによりブラジル経済は回復しつつあり、この流れは今後も続くと考えられます。一方、現大統領のテメル氏も汚職への関与が取りざたされている他、緊縮財政への国民の支持が低いこともあり、財政赤字改善に向けた年金改革は停滞しています。10月の大統領選に向けて政局の不透明感がレアルの向かい風となりそうです。



(注) 政策金利は2015年4月1日～2018年3月21日。  
消費者物価指数は2015年4月～2018年2月。  
(出所) Bloomberg L.P.、ブラジル中央銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注1) データは2015年3月1日～2018年3月21日。  
(注2) (レアル/米ドル) は逆目盛。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ここもチェック! 2018年3月15日 緩やかに回復するブラジル経済（2018年3月） 2018年2月 9日 ブラジル、メキシコの金融政策（2018年2月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。